



コミュニティー

コーポラティブ

COCO-Community地域社会との関わり、Cooperative共同して生活してゆく、の意味

2013年3月

発行所*COCO湘南

〒252-0804 藤沢市湘南台7-32-2

Tel:0466-46-4976

Fax:0466-42-5767

発行者*西條節子



「みんなにやさしい藤沢」を目指して



わが国は、世界に類を見ない早さで超高齢社会の到来を迎えております。まさに、高齢者の皆さまがまちづくりの中心となる時代がやってまいりました。超高齢社会の到来を迎えて課題は山積しておりますが、地域コミュニティーの持つ、人と人との支え合う力によって、高齢者の皆さまがいきいきと暮らせる社会を築くことが出来ると確信しております。

藤沢市は、誰もが安心して暮らせる「みんなにやさしい藤沢」のまちづくりにつなげるさまざまな取り組みを行っております。長寿の時代にあって、誰もが住み慣れた地域で生きがいを持ち、健康に過ごせる藤沢を、皆さまとともに築いてまいりたいと願っておりますので、お力添えくださいますようお願いいたします。

『NPO法人COCO湘南』の「自立と共生」に向けた取り組みに深く敬意を表しますとともに、西條理事長はじめ、関係者の皆さま、並びに、利用者の皆さまのますますのご活躍、ご健勝をお祈り申し上げます。



藤沢市長

鈴木恒夫

～NPO会員の募集～きっと人それぞれに出来る大切な一歩があるはず！

COCO湘南の活動にいろいろなかたちでのご参加とご支援をお待ちしています。

●会員になってくださる方

正会員：個人入会金 ¥5,000 (年会費1口¥5,000)
 団体入会金 ¥10,000(年会費1口¥10,000)

賛助会員：個人年会費 ¥2,000 (入会金不用)
 団体年会費 ¥5,000 (入会金不用)

●ご寄付くださる方

COCO湘南の活動の費用など、資金面等で
 応援して下さる方

★特典 ①会報の送付

②サロンコンサートなど行事の案内

③ゲストルームの利用

速報！

横浜ワークショップ 「地域へ開くグループリビング—その役割と意義—」

2月23日、24日にNPO法人いぶりたすけ愛が主催、NPO法人COCO湘南、グループリビング運営協議会、慶應義塾大学SFC研究所地域協働・ラボが共催、JKA後援で「横浜ワークショップ」を開催いたしました。総参加人数83人、1日目54人、2日目70人の参加がありました。

2月23日(土)

第1部 ふらっとステーション・ドリーム



第一部 ふらっとステーション・ドリーム見学説明会
講演
島津禮子氏



ふらっと・ステーション・ドリーム
外観

ふらっと・ステーション・ドリーム
ランチタイム



2月23日(土)

第一部はふらっとステーション・ドリームで行いました。「地域でコミュニティカフェが果たす役割について—共に暮らし、支え合うまち」をテーマにNPO法人ふらっとステーション・ドリーム副理事長島津禮子氏が講演しました。変化する地域の課題や住民のニーズに応じ様々な取り組みを生み出しており、住民の地域に対する意識の高さを感じました。その後、バスでCOCO湘南台に向かいました。COCO湘南台の2階の居間で第2部を開催しました。まず理事長の西條節子氏が「自立と共生について」をテーマに講演しました。次に慶應義塾大学 土井原奈津江氏が「地域へ開くグループリビング—NPO法人COCO湘南の取り組み—」、ワーカーズコープ ホームヘルプ・おり～ぶの青木静恵氏が「ワーカーズコープ・おり～ぶの取り組み」について講演しました。続いて3班に分かれて見学会を行い住まいの中や湘南台みんなの輪を見学しました。見学会の後「COCO湘南の仲間と話そう！」をテーマに座談会形式で行いました。生活者の高橋郁子さん、高坂嘉代子さん、武井キミさんに参加者からCOCO湘南台での生活について、多くの質問がありました。見学会終了後、バスで中華街の「彩香」にて、交流会を開催しました。

第2部 COCO湘南台



講演
NPO法人COCO湘南 理事長 西條節子氏



講演
慶應義塾大学
上席所員 土井原奈津江氏



講演
ワーカーズコープ
ヘルプ・おり～ぶ
理事長 青木静恵氏

2月24日(日)

神奈川県民ホール 大会議室



開会の挨拶
NPO法人いぶりたすけ愛 理事長 星川光子氏

座談会
COCO湘南の仲間と話そう!
生活者が質問に答える
COCO湘南台 生活者
左から武井キミさん
高坂嘉代子さん 高橋郁子さん



参加者が生活者に質問



中華街 彩香
交流会



基調講演
放送大学教養学部教授
宮本みち子氏



挨拶
NPO法人
COCO湘南理事
グループリビング
運営協議会
会長 西條節子氏

2月24日(日)

2日目は神奈川県民ホール大会議室で行いました。

第一部は放送大学教養学部教授の宮本みち子氏の基調講演で始まりました。テーマは「家族を超えるホーム作り～単身化時代の中で～」でした。新しい住まい作りと仕事の掘り起しとコミュニティづくりは一体的な関係で、福祉政策・労働政策・地域振興策や地域計画とがもっと緊密に結合する必要があることや地域密着型の新しい仕事起しが、社会的孤立化や社会的格差の拡大など、社会的課題の解決にとって役目を果たせるというお話を聞き、グループリビングの可能性について再認識しました。第二部はグループリビングの実践者がパネリストとなり講演を行いました。NPO法人いぶりたすけ愛 星川光子氏、社会福祉法人福島福祉会 清野恭子氏、NPO法人グループリビング川崎 原眞澄美氏が講演を行いました。その後、慶應義塾大学総合政策学部教授 大江守之氏の司会で「地域へ開くグループリビング」をテーマにパネルディスカッションを行いました。各グループリビングの様々な取り組みを知ることが出来ました。

第三部はグループディスカッションを行いました。司会はNPO法人暮らしネット・えんの小島美里氏でした。10班に分かれ議論し最後に各班の代表者が発表しました。

パネリスト
 社会福祉法人 福島福祉会
 常務理事 清野恭子氏



パネリスト
 NPO法人
 いぶりたすけ愛
 理事長
 星川光子氏



パネリスト
 NPO法人グループリビング川崎
 理事長 原眞澄美氏

パネルディスカッション
 司会 慶應大学
 教授 大江守之氏



グループディスカッション発表

グループディスカッション 司会
 NPO法人暮らしネット・えん
 理事長 小島美里氏



神奈川県民ホールの
 会場の様子

COCO 湘南台見学のアンケート結果

- 高齢化=不安のイメージが消えて、楽しく人生を過ごせる希望と喜びを感じました。自分達もこのような生き方を作りあげていきたいと強く思いました。
- GLの聖地!! GLに関わる様になって、一度は目にしたいと思って3年になります。やはり肌で感じる物があり、とても感動しています。
- 「自立と共生」ということを大切に、一人一人を尊重して運営している姿にふれ嬉しく思います。
- 大変勉強になりました。人が住むこと暮らすことをもう一度考える機会になりました。住むことが老いを過ごす所ではなく、創造の場所になっていることを、もう一度自分なりに考え直すことができました。
- 小規模多機能を開設しましたが、COCOを見させて頂き、事業者から見たある意味押し着せの施設となっていないか、反省しております。利用者からの提案による棲家、素晴らしいですね!
- 施設ではなく共同の生活という形で実際の自由な生活の様子をみせて頂き実感しました。

★ワークショップの報告書は3月末に発行を予定しています。

節子の部屋

健康は最大の富

NPO法人COCO湘南
理事長

西條 節子



健康は最大の富であると宣言されたのはアメリカの思想家であり詩人でもあるラルフ・ワルド・エマーソン氏である。私は学生の時、この方のことを学んだ。そして“なーるほど！”と関心したものであった。卒業してからもそのことは頭から離れない。

しかし現在は1人ひとりの健康を守る手だてがないのが残念である。医学は進歩する片方で、経済優先という流通のためにあらゆる食品に“食品添加物”が使用され、腐敗を防ぐ薬品、色をきれいにさせる色素剤、長持ちさせるための防腐剤などなど500種類以上も使われているのである。反面それに気づいた消費者の私たちは無添加の無農薬品なども出しているの、見栄えは良くないけどなるべく選択していくようにしている。値段が少し高いから、家計に影を落とすが負けないようにうまく食材を選択する事にしている。

さて、そこで私は肉体の健康ばかりではないことを示さねばならない。健康って、心と身体が一体なのであることを忘れてはいけない。安全なものを食べていけばいいということばかりではない。エマーソン氏の言う健康は“心と肉体”の健康を言われているのである。心を失いそうになるめまぐるしい世こそ、「一人ひとりの命」に宿る大切な心を優しく見守りあうことなのだ。そう言い聞かせているけれど、私は一寸遅れたかな、今からでも心して叫び続けようと思う特に今日この頃なのです。



NPO法人COCO湘南の概要

COCO湘南

- 活動の目的** ▶ COCO湘南は、高齢者のためのバリアフリー・グループリビングや高齢者地域活動センターの運営とその関連事業を通じて、高齢者の健康的で文化的な生活を支援し、明るい地域社会づくりに貢献することを目的とします。
- 活動の種類** ▶ COCO湘南は、目的を達成するために、①福祉の増進を図る活動 ②社会教育の推進を図る活動 ③まちづくりの推進を図る活動等を行います。
- 事業の種類** ▶ COCO湘南は、①高齢者バリアフリー・グループリビングを開設し、運営する事業 ②高齢者への家事援助、介護ならびに介護サービス事業 ③高齢者のための生涯学習、レクリエーションの事業 ④高齢者の地域連帯を促進し、「自立と共生」を支援する事業など。
- 事務局** ▶ 住所：藤沢市湘南台7-32-2 中野 満 電話：0466-46-4976 Fax：0466-42-5767
メール：coco-shonan@jcom.home.ne.jp HPアドレス：<http://www.coco-shonan.jp/>
*定例見学会は第一日曜日から第一土曜日に変更になりました。



COCOたかくらの清宮美津枝さん 夢の実現 102日間 地球一周の船旅に出発！！

出発を数日後に控え、お忙しい中、清宮さんにお話しをお伺いしました。

船旅の動機は、38年間の会社勤務を終えた人生の一区切りとしての「けじめ」をつけたい「自分自身にご褒美を(presenet for myself)」ということから、船の好きな清宮さんとしては船旅をしてみたいものと思っていたそうです。そんな事を考えていたおり、千葉の公民館で西條先生のお話を伺い、先生の人柄に強くひかれ、まずは第一にCOCOたかくらに入居することにしました。そこで糸野仔至子さんにお会いし、ピースボートによる世界旅行のお話しをお伺い、今回の旅行の実現という事になったわけです。「人との出会いとは実に不思議なものだと痛感しております」とのことでした。

今後の船旅の様子等については、次号でご報告いただけるようお約束をしておきました。

まずは、心より、航海のご無事をお祈りいたします。

(聞き手 熊澤淑子)

旅行行程	
2012.12.14	横浜出発
12.22	コタキナバル
12.25	シンガポール
12.27	ジャカルタ
2013.1.5	ポートルイス
1.10	ダーバン
1.11	ダーバン
1.14	ケープタウン
1.17	ウォルビスベイ
1.26	リオデジャネイロ
1.30	ブエノスアイレス
1.31	モンテカルロ
2.5	ウシュアイア
2.7	ブントアレナス
2.14	バルパライソ
2.19	カヤオ
2.20	カヤオ
2.21	カヤオ
2.28	イースター島
3.9	パペーテ
3.25	横浜到着

高齢者グループリビング普及活動

2013年1月～3月

2月2日 COCO湘南台で定例見学会を開催しました。小林副理事長、高橋郁子氏、土井原奈津江、井野元美奈子が対応しました。参加人数は14人でした。

2月23日24日 「横浜ワークショップー地域へ開くグループリビングー」を神奈川県民ホールで開催しました。

3月1日 大阪市西成区の社会福祉法人ヒューマンライツ福祉協会から理事長他3人の方がCOCO湘南台に見学に来られました。中野事務局長、土井原奈津江、亀井里江子が対応しました。

3月2日 COCO湘南台で定例見学会を開催しました。西條理事長、土井原奈津江と井野元美奈子

が対応しました。参加人数は11人でした。

3月6日 藤沢ロータリークラブで「地域へ開くグループリビング」をテーマに講演しました。西條理事長、最上副理事長、土井原奈津江が参加しました。

編集後記

これまで来訪された数々の見学者からCOCO湘南台の住まいが醸し出す雰囲気が暖かくていいですねと言われた。今回のワークショップでもそのような意見を多くいただいた。私もここを訪れると親しい親戚のお宅に訪問しているような気分になる。この雰囲気は生活者、運営者、スタッフが自由気ままに暮らしづくりをしているからこそ、出来上がったものだと思う。(な)

編集者* 西條節子
大江守之
熊澤淑子
竹内碩子
青木静恵
土井原奈津江